

2025年度（令和7年度）（第2回）一般選抜入学試験問題（教育学研究科）

外国語科目（英語）問題

（90分）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で4ページあります。また、問題冊子とは別に解答用紙1枚、下書き用紙（白紙）1枚が配布されます。
3. 解答開始後、解答用紙指定欄に受験番号、名前を記入しなさい。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

I

以下の文章は、「還元主義」^{注1}の前提とされる「科学の統一性」を考察し、科学者における多元的視点の重要性について述べている文章である。

次の文を読んで、問に答えなさい。

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

注1) reductionism：還元主義（ある複雑な現象や過程を、低次の、より基本的なレベルで起こる事象や過程に還元して説明しようとする科学論的アプローチのこと。心理学においては、心的過程を神経生理学的な過程へと還元したり、その神経生理学的なさらに生化学的な過程へ、そして物理学的過程へと最終的に還元したりする場合にこの語が用いられることが多い。）

注2) interdisciplinary：学際的な

注3) neuroeconomics：神経経済学

注4) social neuroscience：社会神経科学

注5) entomologist：昆虫学者

注6) elevation：標高

引用：Medin, D.L & Bang Megan. *Who's Asking?* The MIT Press, 2014.（一部改変）

問1 下線部(a)を日本語訳しなさい。

問2 下線部(b)を日本語訳しなさい。ただし、Point A は「A 点」、Point B は「B 点」と訳すこと。

問3 下線部(c)を日本語訳しなさい。ただし、GPS は「GPS」と訳すこと。

問4 本文において筆者は科学的理論の多元性について論じているが、理論と現実世界の関係について、あなたの考えを日本語で述べよ。

(問題は以上です。次頁以降は白紙です。)